

主要な特用林産物の平成30年の生産動向

区 分		生産量 (トン)	生産額 (億円)		主要な生産地	備 考
			対前年比	対前年比		
食 の 類	乾しいたけ	2,635 (18,442)	103.6%	109	90.2%	大分、宮崎、熊本、愛媛、岩手
	生しいたけ	70,382	101.1%	681	93.4%	徳島、北海道、岩手、秋田、群馬
	うち原木栽培	5,965	93.3%	58	86.2%	静岡、鹿児島、群馬、茨城、大分
	うち菌床栽培	64,416	101.9%	623	94.1%	徳島、北海道、岩手、秋田、群馬
	な め こ	23,350	99.3%	106	98.7%	新潟、山形、長野、福島、北海道
	えのきたけ	140,168	103.3%	307	110.9%	長野、新潟、宮崎、福岡、長崎
	ひらたけ	4,001	104.5%	19	113.6%	新潟、福岡、長野、茨城、三重
	ぶなしめじ	117,966	100.2%	506	104.1%	長野、新潟、福岡、香川、静岡
	まいたけ	49,691	104.1%	453	124.6%	新潟、静岡、福岡、長野、北海道
	エリンギ	39,421	100.9%	214	101.4%	長野、新潟、広島、福岡、香川
	まつたけ	63	347.8%	22	184.7%	長野、岩手、愛媛、岡山、京都
	きくらげ	2,309	135.0%	25	135.0%	岐阜、北海道、熊本、鹿児島、茨城
	そ の 他	2,205	104.0%	18	94.0%	
	小 計	467,998	102.0%	2,460	104.2%	
	く り	16,500	88.2%	95	67.7%	茨城、熊本、愛媛、岐阜、埼玉
たけのこ	25,364	107.6%	51	85.3%	福岡、鹿児島、熊本、京都、香川	
わ さ び	2,080	94.0%	43	99.3%	静岡、長野、岩手、大分、高知	
そ の 他	12,908	91.1%	74	102.6%	わさび以外の山菜及び薬草	
計	524,850	101.4%	2,723	101.7%		
非 食	うるし	1,845 (注2)	128.7%	1	139.1%	岩手、茨城、栃木、福島、長野
	竹材	1,213 (注2)	101.4%	20	75.8%	鹿児島、熊本、福井、福岡、大分
	桐材	404 (注2)	86.8%	0	86.5%	群馬、福島、秋田、山形
	木炭	14,699	92.2%	18	92.7%	岩手、島根、高知、北海道、和歌山
	竹炭	534	101.4%	3	101.6%	福岡、山口、熊本、徳島、高知
	木酢液	2,451 (注2)	101.7%	5	120.0%	岩手、宮崎、熊本、静岡、福島
	竹酢液	197 (注2)	102.1%	1	102.0%	香川、熊本、徳島、岐阜、宮崎
	薪	76,660 (注2)	92.5%	20	95.8%	鹿児島、長野、北海道、福島、岩手
	その他	2,493	85.7%	28	97.0%	木ろう、つばき油、竹皮、しきみ、さかき
	計			96	92.3%	
合計			2,820	101.4%		

注) 1 乾しいたけの生産量の括弧書きは、生換算値であり、きのこ類の生産量小計には、この数値を用いている。

2 うるしはkg、竹材は千束、桐材はm³、木酢液・竹酢液はkl、薪は千層積m³である。

3 木炭の生産量は、白炭、黒炭、粉炭の合計である。

4 計が一致しない部分は、四捨五入によるものである。

5 生産量は、主に都道府県林務担当課からの報告の集計（集計期間：平成30年1月～12月）である。

6 生産額は、それぞれの生産量に東京都中央卸売市場等の卸売価格、都道府県の生産者出荷価格等に乗じた推計値である。

7 主要な生産地は、生産量の上位5都道府県（桐材は4都道府県）を掲載している。